

## 令和2年度事業報告書

本部事務局

月 日	事 業 名(場所)	事 業 内 容
令和 2.4.14	理事会にかかる提案 (新型コロナウイルス感染症の拡大に鑑み、定款第26条第2項の規定に基づき、議案を承認する理事会の決議があったものとみなし理事会を開催しない旨の提案)  * 議決があったものとみなされる日 令和2. 4. 20	○議案 議第14号 社会福祉法人たかしま会就業規則の一部を改正する規則(案)について  議第15号 社会福祉法人たかしま会短時間勤務等労働者就業規則の一部を改正する規則(案)について  議第16号 藤美寮短期入所運営規程の一部を改正する規程(案)について  議第17号 藤美相談支援事業所運営規程の一部を改正する規程(案)について
		* 議第14号・議第15号 令和2年6月1日から施行される、労働施策総合推進法にかかる「パワーハラスメント」に関する事項について所要の改正を行うため、就業規則及び短時間勤務等労働者就業規則の一部改正を上程し、それぞれ理事全員の同意を得た。
		* 議第16号 令和2年4月1日から、地域生活支援拠点等の機能のうち緊急時の受入・対応、体験の機会・場を担う事業所としてサービスを提供するため、藤美寮短期入所の運営規程の一部改正を上程し、理事全員の同意を得た。
		* 議第17号 令和2年4月1日から、地域生活支援拠点等の機能のうち相談、地域の体制づくりを担う事業所としてサービスを提供するため、藤美相談支援事業所の運営規程の一部改正を上程し、理事全員の同意を得た。
令和 2.6.4	理事会 (マキノ土に学ぶ里研修センター2階集会室)	◇報 告 報告第1号 職務執行状況の報告について ○議 案 議第18号 令和元年度社会福祉法人たかしま会事業報告及び収支決算の承認について 議第19号 平成29年度から平成33年度社会福祉法人たかしま会社会福祉充実計画の変更に係る承認について 議第20号 社会福祉法人たかしま会補欠理事候補者の選任について 議第21号 令和2年度社会福祉法人たかしま会定時評議員会の招集について
		* 報告第1号 定款第17条第3項の規定により、「理事長は、毎会計年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない」ことから、法人本部及び各拠点区分の令和元年度の執行状況について報告を行った。
		* 議第18号 令和元年度の事業報告及び収支決算を上程し、可決承認された。
		* 議第19号 令和元年度の収支決算で、「社会福祉充実残額」が2億1千457万円となり、平成28年度末の計画から大きく乖離する実情から、社会福祉充実計画の変更を上程し、可決承認された。

	<p>* 議第20号 令和2年3月19日付けで青谷寿恵廣理事より一身上の都合により、令和2年6月19日開催予定の定時評議員会終結の時をもって当法人理事を辞任したい旨の願があったことから、これを受理し、補欠理事候補者として河原田 勉を定時評議員会に提案することの同意を得た。</p> <p>* 議第21号 令和2年6月19日に、令和2年度社会福祉法人たかしま会定時評議員会を招集することを上程し、可決承認された。なお、報告事項および議事は、上記、議第18号、議第19号、議第20号の案件である。</p>										
令和 2.6.19	<table border="1"> <tr> <td>定時評議員会 (マキノ土に学ぶ里研修センター2階集会室)</td> <td> <p>◇報告 報告第1号 平成元年度社会福祉法人たかしま会事業報告について</p> <p>○議案 議第1号 令和元年度社会福祉法人たかしま会収支決算の承認について</p> <p>議第2号 平成29年度から平成33年度社会福祉法人たかしま会社会福祉充実計画の変更に係る承認について</p> <p>議第3号 社会福祉法人たかしま会補欠理事の選任について</p> </td> </tr> <tr> <td>* 報告第1号</td> <td>令和元年度事業報告を行った。</td> </tr> <tr> <td>* 議第1号</td> <td>令和元年度の収支決算を上程し、可決承認された。</td> </tr> <tr> <td>* 議第2号</td> <td>令和元年度の収支決算で、「社会福祉充実残額」が2億1千457万円となり、平成28年度末の計画から大きく乖離する実情から、社会福祉充実計画の変更を上程し、可決承認された。</td> </tr> <tr> <td>* 議第3号</td> <td>令和2年3月19日付けで青谷寿恵廣理事より一身上の都合により、令和2年6月19日開催予定の定時評議員会終結の時をもって当法人理事を辞任したい旨の願があったことから、これを受理し、補欠理事として河原田 勉を提案し、選任された。</td> </tr> </table>	定時評議員会 (マキノ土に学ぶ里研修センター2階集会室)	<p>◇報告 報告第1号 平成元年度社会福祉法人たかしま会事業報告について</p> <p>○議案 議第1号 令和元年度社会福祉法人たかしま会収支決算の承認について</p> <p>議第2号 平成29年度から平成33年度社会福祉法人たかしま会社会福祉充実計画の変更に係る承認について</p> <p>議第3号 社会福祉法人たかしま会補欠理事の選任について</p>	* 報告第1号	令和元年度事業報告を行った。	* 議第1号	令和元年度の収支決算を上程し、可決承認された。	* 議第2号	令和元年度の収支決算で、「社会福祉充実残額」が2億1千457万円となり、平成28年度末の計画から大きく乖離する実情から、社会福祉充実計画の変更を上程し、可決承認された。	* 議第3号	令和2年3月19日付けで青谷寿恵廣理事より一身上の都合により、令和2年6月19日開催予定の定時評議員会終結の時をもって当法人理事を辞任したい旨の願があったことから、これを受理し、補欠理事として河原田 勉を提案し、選任された。
定時評議員会 (マキノ土に学ぶ里研修センター2階集会室)	<p>◇報告 報告第1号 平成元年度社会福祉法人たかしま会事業報告について</p> <p>○議案 議第1号 令和元年度社会福祉法人たかしま会収支決算の承認について</p> <p>議第2号 平成29年度から平成33年度社会福祉法人たかしま会社会福祉充実計画の変更に係る承認について</p> <p>議第3号 社会福祉法人たかしま会補欠理事の選任について</p>										
* 報告第1号	令和元年度事業報告を行った。										
* 議第1号	令和元年度の収支決算を上程し、可決承認された。										
* 議第2号	令和元年度の収支決算で、「社会福祉充実残額」が2億1千457万円となり、平成28年度末の計画から大きく乖離する実情から、社会福祉充実計画の変更を上程し、可決承認された。										
* 議第3号	令和2年3月19日付けで青谷寿恵廣理事より一身上の都合により、令和2年6月19日開催予定の定時評議員会終結の時をもって当法人理事を辞任したい旨の願があったことから、これを受理し、補欠理事として河原田 勉を提案し、選任された。										
令和 2.7.28	<table border="1"> <tr> <td>理事会 (マキノ土に学ぶ里研修センター2階集会室)</td> <td> <p>◇報告 報告第2号 専決処分の承認を求めることについて ((仮称)高齡障がい者デイサービスセンター新築工事実施設計業務委託変更契約)</p> <p>○議案 議第22号 令和2年度社会福祉法人たかしま会収支補正予算第1号(案)について</p> <p>議第23号 高島市安曇川障害者デイサービスセンターの指定管理者として応募することについて</p> </td> </tr> <tr> <td>* 報告第2号</td> <td>(仮称)高齡障がい者デイサービスセンター新築工事実施設計業務委託変更契約に係る専決処分の報告を行い、承認を得た。</td> </tr> <tr> <td>* 議第22号</td> <td>藤美寮拠点区分において、人件費及び栄養管理ソフト保守導入費を増額すること、藤の樹工房において、正規職員の人事異動による人件費不足分を増額すること等の内容で補正予算を上程し、可決承認された。</td> </tr> <tr> <td>* 議第23号</td> <td>令和3年3月31日で、指定管理期間が満了する高島市安曇川障害者デイサービスセンターについて、高島市が募集する次期指定管理者として応募することを上程し、可決承認された。</td> </tr> </table>	理事会 (マキノ土に学ぶ里研修センター2階集会室)	<p>◇報告 報告第2号 専決処分の承認を求めることについて ((仮称)高齡障がい者デイサービスセンター新築工事実施設計業務委託変更契約)</p> <p>○議案 議第22号 令和2年度社会福祉法人たかしま会収支補正予算第1号(案)について</p> <p>議第23号 高島市安曇川障害者デイサービスセンターの指定管理者として応募することについて</p>	* 報告第2号	(仮称)高齡障がい者デイサービスセンター新築工事実施設計業務委託変更契約に係る専決処分の報告を行い、承認を得た。	* 議第22号	藤美寮拠点区分において、人件費及び栄養管理ソフト保守導入費を増額すること、藤の樹工房において、正規職員の人事異動による人件費不足分を増額すること等の内容で補正予算を上程し、可決承認された。	* 議第23号	令和3年3月31日で、指定管理期間が満了する高島市安曇川障害者デイサービスセンターについて、高島市が募集する次期指定管理者として応募することを上程し、可決承認された。		
理事会 (マキノ土に学ぶ里研修センター2階集会室)	<p>◇報告 報告第2号 専決処分の承認を求めることについて ((仮称)高齡障がい者デイサービスセンター新築工事実施設計業務委託変更契約)</p> <p>○議案 議第22号 令和2年度社会福祉法人たかしま会収支補正予算第1号(案)について</p> <p>議第23号 高島市安曇川障害者デイサービスセンターの指定管理者として応募することについて</p>										
* 報告第2号	(仮称)高齡障がい者デイサービスセンター新築工事実施設計業務委託変更契約に係る専決処分の報告を行い、承認を得た。										
* 議第22号	藤美寮拠点区分において、人件費及び栄養管理ソフト保守導入費を増額すること、藤の樹工房において、正規職員の人事異動による人件費不足分を増額すること等の内容で補正予算を上程し、可決承認された。										
* 議第23号	令和3年3月31日で、指定管理期間が満了する高島市安曇川障害者デイサービスセンターについて、高島市が募集する次期指定管理者として応募することを上程し、可決承認された。										

令和 2.10.2	理事会 (マキノ土に学ぶ里研修 センター2階集会室)	<p>○議案 議第24号 社会福祉法人たかしま会小規模多機能型居宅介護事業所陽だまり運営規程の一部を改正する規程(案)について</p> <p>議第25号 令和2年度社会福祉法人たかしま会収支補正予算第2号(案)について</p> <p>その他 経営計画について(法人本部)</p>
	*議第24号	平成25年4月1日施行の、高島市指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等と整合を図るため、小規模多機能型居宅介護事業所陽だまりの運営規程の一部改正を上程し、可決承認された。
	*議第25号	藤波園拠点区分において、暴風雨により居室に雨水が流入し、修繕が必要になり、損害保険給付金で対応すること、藤美寮拠点区分において火災保険料の前払い処理をする必要が生じたこと等の内容で補正予算を上程し、可決承認された。
	*その他	経営計画を策定している中、法人本部に係る課題と、課題解決のためのビジョン、ビジョンの達成方法、スケジュール等を示し、課題等について共通の認識を得た。
令和 2.11.27	理事会 (マキノ土に学ぶ里研修 センター2階集会室)	<p>◇報告 報告第3号 職務執行状況の報告について</p> <p>報告第4号 専決処分の承認を求めることについて (藤波園居室床張替工事請負契約の締結)</p> <p>○議案 議第26号 令和2年度社会福祉法人たかしま会収支補正予算第3号(案)について</p> <p>その他 新型コロナウイルス感染利用者待機施設新築工事に係る今後の事務処理について(法人本部)</p>
	*報告第3号	定款第17条第3項の規定により、「理事長は、毎会計年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない」ことから、法人本部及び各拠点区分の令和2年度の執行状況について報告を行った。
	*報告第4号	藤波園居室床張替工事請負契約の締結に係る専決処分の報告を行い、承認を得た。
	*議第26号	藤美寮拠点区分において、新型コロナウイルス感染症予防対策交付金事業及びICT事業の整備並びに退職等による人件費を増額すること、陽だまり拠点区分において、退職職員等の人件費や新型コロナウイルス感染症予防対策交付金事業により増額すること、藤の樹工房拠点区分において、新型コロナウイルス感染症予防対策交付金事業により増額すること等の内容で補正予算を上程し、可決承認された。
	*その他	新型コロナウイルス感染利用者待機施設新築工事に係る今後の事務処理について現状を説明し、課題等について共通の認識を得た。

令和 2.12.4	<p>理事会にかかる提案 (新型コロナウイルス感染症の発生に備え、早急に業務を行う必要から、定款第26条第2項の規定に基づき、議案を承認する理事会の決議があったものとみなし理事会を開催しない旨の提案)</p> <p>* 議決があったものとみなされる日 令和2. 12. 7</p>	<p>◇報告 報告第5号 専決処分の承認を求めることについて (新型コロナウイルス感染利用者待機施設新築工事実施設計監理業務委託契約の締結)</p> <p>○議案 議第27号 新型コロナウイルス感染利用者待機施設新築工事の契約の方法および見積徴取業者(案)について</p>
	<p>* 報告第5号</p>	<p>新型コロナウイルス感染利用者待機施設新築工事実施設計監理業務委託契約の締結に係る専決処分の報告を行い、理事全員の同意を得た。</p>
	<p>* 議第27号</p>	<p>新型コロナウイルス感染利用者待機施設新築工事の契約の方法および見積徴取業者(案)を上程し、理事全員の同意を得た。</p>
令和 2.12.18	<p>理事会にかかる提案 (新型コロナウイルス感染症の発生に備え、早急に建築を行う必要から、定款第26条第2項の規定に基づき、議案を承認する理事会の決議があったものとみなし理事会を開催しない旨の提案)</p> <p>* 議決があったものとみなされる日 令和2. 12. 21</p>	<p>○議案 議第28号 契約の締結につき議決を求めることについて (新型コロナウイルス感染利用者待機施設新築工事)</p>
	<p>* 議第28号</p>	<p>新型コロナウイルス感染利用者待機施設新築工事契約の締結を上程し理事全員の同意を得た。</p>
令和 3.2.5	<p>理事会 (マキノ土に学ぶ里研修センター2階集会室)</p>	<p>○議案 議第1号 令和2年度社会福祉法人たかしま会収支補正予算第4号(案)について</p>
	<p>* 議第1号</p>	<p>藤美寮拠点区分において、非常勤職員給与費及びグループホーム利用者等外給食費を増額すること、陽だまり拠点区分において、新型コロナウイルス感染症予防対策交付金を増額すること、藤の樹工房拠点区分において、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策交付金事業による軽トラック購入費の増額等の内容で補正予算を上程し、可決承認された。</p>

令和 3.2.25	理事会 (マキノ土に学ぶ里研修 センター2階集会室)	○議案 議第2号 令和2年度社会福祉法人たかしま会収支補正 予算第5号(案)について
* 議第2号		主な補正内容は、藤波園拠点区分において、介護報酬収入を増額すること、また新規に基金積立を行うこと、藤美寮拠点区分において、新型コロナウイルス感染症予防対策交付金及び非常勤職員給与費等により増額する等の内容で補正予算を上程し、可決承認された。
令和 3.3.24	理事会 (マキノ土に学ぶ里研修 センター2階集会室)	○議案 議第3号 社会福祉法人たかしま会障害者支援施設藤美 寮運営規程の一部を改正する規程(案)につい て 議第4号 社会福祉法人たかしま会藤美相談支援事業所 運営規程の一部を改正する規程(案)につい て 議第5号 社会福祉法人たかしま会就労継続支援 B 型事 業所藤の樹工房運営規程の一部を改正する規 程(案)につい て 議第6号 社会福祉法人たかしま会第1期中期経営計 画(案)の承認につい て 議第7号 令和2年度社会福祉法人たかしま会収支補正 予算第6号(案)につい て 議第8号 令和3年度社会福祉法人たかしま会事業計 画(案)及び令和3年度社会福祉法人たかしま 会収支予算(案)につい て 議第9号 社会福祉法人たかしま会施設長(藤の樹工 房所長)の選任につい て 議第10号 社会福祉法人たかしま会事務局長の選任につ いて 議第11号 社会福祉法人たかしま会補欠評議員選任・解 任委員の選任につい て
* 議第3号 議第4号 議第5号		3つの議案はいずれも令和3年4月1日から、地域生活支援拠点等の機能を担う事業所としてサービスを提供し、新規利用者の拡大による財政基盤の強化を図り、事業の実施区域の拡大を図る改正の規定を上程し、それぞれ理事全員の同意を得た。
* 議第6号		第1期中期経営計画(案)(2021年度～2023年度)の策定の承認について上程し、可決承認された。
* 議第7号		藤波園拠点区分において、短期利用者の利用者が増加したことによる増額すること、陽だまり拠点区分において、要介護認定者の利用者減少による減額補正すること、藤美寮拠点区分において施設整備等積立金を増額すること、藤の樹工房拠点区分において、新型コロナウイルス感染症拡大防止による内職等受注売り上げの減少により減額する等の内容で補正予算を上程し、可決承認された。
* 議第8号		令和3年度の当法人にかかる事業計画(案)及び収支予算(案)を拠点区分ごとに上程し、可決承認された。



6. 経営計画策定委員会に関する開催状況 17回 (期外含む)

令和2年	1月24日	理事協議会 (役員研修会)
令和2年	2月26日	第1回経営計画策定部会
令和2年	3月25日	職員グループディスカッション
令和2年	5月27日	職員グループディスカッション
令和2年	6月26日	職員グループディスカッション
令和2年	7月22日	第2回経営計画策定部会
令和2年	8月19日	職員グループディスカッション
令和2年	8月26日	第1回経営計画策定委員会
令和2年	9月16日	Zoom ミーティング (今後の進め方について)
令和2年	9月30日	職員グループディスカッション
令和2年	10月2日	理事会 (経営計画について 法人本部関係)
令和2年	10月28日	経営計画正副部会長、施設長会議
令和2年	11月12日	第3回経営計画策定部会
令和2年	12月11日	職員グループディスカッション
令和3年	1月20日	経営計画 Zoom 会議
令和3年	2月26日	経営計画正副部会長、施設長会議
令和3年	3月26日	経営計画正副部会長、施設長会議

\*その他、事業所ごとのディスカッション随時

7. 地域貢献事業「行こカー」の利用状況 16回 38名

【申請者数 (R3.3.31 現在) : 計 20名 在原一山中 (12名)、国境一山中 (8名)】

令和2年	8月14日	在原一山中コース	3名
令和2年	8月11日	国境一小荒路コース	1名
令和2年	8月18日	在原一山中コース	4名
令和2年	8月25日	国境一小荒路コース	1名
令和2年	9月1日	在原一山中コース	2名
令和2年	9月8日	国境一小荒路コース	1名
令和2年	9月15日	在原一山中コース	5名
令和2年	10月13日	国境一小荒路コース	1名
令和2年	10月20日	在原一山中コース	1名
令和2年	11月17日	在原一山中コース	6名
令和2年	12月1日	在原一山中コース	5名

令和2年12月	8日	国境一小荒路コース	1名	
令和2年12月	15日	在原一山中コース	2名	
令和3年	2月	2日	在原一山中コース	2名
令和3年	3月	9日	国境一小荒路コース	1名
令和3年	3月	16日	在原一山中コース	2名

# 令和2年度事業報告書

養護老人ホーム 藤波園  
 特定施設入居者生活介護事業所  
 訪問介護事業所

## 1. 藤波園

### (1) 利用者の状況

年度当初の入居者は定員の60人であったが、死亡により4人、措置廃止により5人の退所があり、前年度の入居者は、平均毎月59.1人でしたが、本年度は57.4人と入居者は減少した。延べ欠員は、827人で前年度より501人多かった。

新規入居者5人のうち大津市4人、高島市1人であった。全入居者のうち高島市措置者と大津市措置者が共に46%、以外が8%となり、市外の措置が増えてきた。

### ① 入退所の理由

退所理由		入所理由	
死亡	4人	環境理由	5人
措置廃止 (長期入院他)	5人	虐待	0人
計	9人	計	5人

### ② 利用者の状況 (60人定員)

(各月末日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
男性	14人	14人	14人	14人	14人	15人
女性	45人	45人	43人	43人	44人	43人
合計	59人	59人	57人	57人	58人	58人
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	15人	14人	14人	14人	14人	14人
女性	43人	43人	43人	43人	42人	42人
合計	58人	57人	57人	57人	56人	56人

令和2年度 平均 男性 14.1人 女性 43.3人 合計 57.4人

※ 令和元年度 平均 男性 13.8人 女性 45.3人 合計 59.1人

### ③ 出身市町の内訳

令和3年3月31日

市町名	高島市	大津市	東近江市	長浜市	日野町	合計
人数	26人	26人	1人	2人	1人	56人

## (2) 事業運営（利用者支援状況）

### ① 終末期の看取り

終末期を藤波園で過ごし、最期まで看取った方は3人であった。それぞれの利用者の思いを大切に介護した。

### ② 研修、行事等

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修は中止や受講定員の減によりほとんど受講することが出来なかった。クラブ活動は、講師にお願いせずに職員だけで実施した。また、寿老式は、来賓を招かず縮小して開催し、ふれあい交流会は中止し、代替に利用者、職員だけで秋まつりを実施した。

### ③ 地域交流

毎年6月に参加していたふじみ寮祭り、毎月実施していたスーパーでの買い物、市内のこども園児等の慰問等の行事を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。このため、買い物の代替として地元商店の訪問販売の回数を増やし、利用者の要望に応えるよう努力した。

### ④ 健康管理

8月に風邪症状（発熱等）の罹患者が21人発生し、その内3人が入院した。9月以降は、罹患者は発生せず終息した。罹患者21人の内4人は、新型コロナウイルス抗原検査を受けた結果は、全員陰性であった。今回の件で罹患者の隔離と全利用者の個室対応を早急に実施する大切さを学んだ。また、インフルエンザの罹患者は1人もいなかった。新型コロナウイルス感染症拡大防止の状況により面会をはじめ外部からの出入りを制限し、感染防止に努めた。

利用者の健康診断については、前年度同様、検診車を利用したことにより全ての検査を半日で終わることができ、利用者や職員の負担を大きく軽減した。

入院者は、前年度より2人少ない18人であった。延べ入院日数は、前年度より160日少ない858日となり、100日以上入院した利用者は1人であった。

※ 入院状況

氏名	期 間			日数	期 間			日数	期 間			日数
利用者 1	4/ 1	～	4/14	14								14
利用者 2	4/ 1	～	4/ 1	1	12/3	～	1/8	37				38
利用者 3	4/ 7	～	5/21	45								45
利用者 4	5/ 4	～	6/10	38								38
利用者 5	6/10	～	7/13	34	7/18	～	8/18	32				101
	2/25	～	入院中	35								
利用者 6	6/23	～	9/23	93								93
利用者 7	7/12	～	8/ 6	26								26
利用者 8	7/13	～	7/29	17								17
利用者 9	8/ 5	～	10/22	79								79
利用者 10	8/ 6	～	8/14	9								9
利用者 11	8/21	～	9/24	35								35
利用者 12	9/16	～	10/30	45	2/ 5	～	3/ 1	25				92
	3/10	～	入院中	22								
利用者 13	10/13	～	10/31	19	11/12	～	11/19	8				32
	2/ 8	～	2/12	5								
利用者 14	11/10	～	1/26	78								78
利用者 15	11/28	～	1/28	62								62
利用者 16	12/29	～	1/29	32								32
利用者 17	2/ 2	～	3/29	56								56
利用者 18	2/19	～	3/ 1	11								11
計												858

※ 入院中は、3月末現在の日数

(3) 職員の状況

9月に正規介護職員を1人採用し、12月末にパート職員1名が退職した。

(4) 苦情の対応

苦情の申し出はなかった。

(5) その他

新型コロナウイルス感染症発生により職員が不足し、入居者等の支援が困難となる場合、職員を派遣する協定を滋賀県老人福祉施設協議会高島ブロックの会員施設4法人8事業所で締結した。

## (6) 経営状況

入居率が前年度と比べ低かったことから、措置事業収入は125,656,298円で、前年度より4,049,886円の減収となった。雑収入で豪雨による浸水被害で居室修繕（4室）の損害保険給付が1,200,000円、また、職員の退職処理のためその他の収入で4,222,472円の収入があったことから、事業活動収入計は、前年度より900,351円増の131,731,779円であった。支出では、事業活動支出計は、退職給付支出や修繕費支出が増えたことから、前年度より6,949,775円増の121,250,284円となった。なお、当期末支払資金残高が措置事業収入の3割を超える見込みであったため、10,000,000円を施設整備等積立資産支出として積立したことから、当期資金収支差額は、3,542,801円のマイナスとなった。

### 2. 特定施設入居者生活介護事業所

契約者数は、前年度22.3人で平均介護度は3.2であったが、本年度は23.8人で平均介護度は3.4であった。

このことにより、介護保険事業収入は前年度より6,581,360円増の65,083,920円であった。支出では、事業活動支出計は、業務委託費支出が増えたことから、前年度より3,620,357円増の57,571,711円となり、当期資金収支差額は、1,849,895円の黒字となった。

#### 要介護度の状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
4月	1人	5人	7人	1人	8人	22人
5月	1人	5人	7人	2人	7人	22人
6月	1人	5人	7人	2人	7人	22人
7月	1人	5人	7人	3人	7人	23人
8月	1人	5人	7人	3人	7人	23人
9月	0人	6人	7人	4人	7人	24人
10月	0人	6人	7人	4人	7人	24人
11月	0人	5人	7人	7人	6人	25人
12月	1人	5人	7人	7人	5人	25人
1月	1人	5人	7人	6人	6人	25人
2月	1人	5人	7人	6人	6人	25人
3月	1人	8人	6人	6人	5人	26人

### 3. 訪問介護事業所

藤波園の特定施設入居者生活介護事業所の利用者に訪問介護を行い、それぞれの利用者の思いを大切に介護した。

収入は、特定施設入居者生活介護事業所からの委託費および補助金がほとんどで事業活動収入計は、前年度より4,621,273円増の35,621,609円であった。支出では、事業活動支出計は、前年度より944,178円減の32,419,865円となり、当期資金収支差額は、2,923,884円の黒字となった。

# 令和2年度事業報告書

## 生活管理指導短期宿泊事業 藤波園

虐待からの避難や、生活の場がないとの住宅環境上の理由により、9人の方の措置を受けた。その内、2人が入所となった。

利用者は前年度と同数であったが、利用期間の長い利用者が多かったことから、事業活動収入計は、2,503,030円となり前年度より1,522,148円の増収となった。

### 1. 利用理由

	高島市	大津市
環境理由	4人	3人
虐待から避難	0人	2人
計	4人	5人

### 2. 利用状況

氏名	性別	市町	利用期間	理由	備考
利用者1	女性	大津	6月19日～6月26日	虐待	他の施設
利用者2	男性	高島	6月22日～8月31日	環境理由	藤波園入所
利用者3	男性	高島	7月17日～7月31日	環境理由	入院
利用者4	女性	大津	11月27日～2月20日	虐待	自宅へ
利用者5	女性	大津	12月10日～12月31日	環境理由	藤波園入所
利用者6	男性	高島	12月24日～利用中	環境理由	
利用者7	女性	高島	12月24日～利用中	環境理由	
利用者8	女性	大津	3月3日～利用中	環境理由	
利用者9	女性	大津	3月15日～利用中	環境理由	

# 令和2年度事業報告書

小規模多機能型居宅介護事業所 陽だまり

## 1. 利用状況

今年度の利用者数は、9人の終了、新規利用が6人あり、月平均 18.4 人となった。

目標人数の 20 人を確保することができなかったが、サービス利用においては、利用者・家族状況に応じて柔軟な対応を行い、サービスの向上に努めた。

### (1) 月別利用者の推移 (登録定員 29 人) (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
男 (前年)	4 (3)	4 (3)	4 (4)	3 (4)	2 (3)	2 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (4)	4 (5)	4 (5)	4 (4)
女 (前年)	16 (17)	16 (17)	16 (17)	16 (17)	15 (18)	15 (18)	13 (17)	15 (17)	14 (17)	15 (17)	14 (17)	15 (16)
計 (前年)	20 (20)	20 (20)	20 (21)	19 (21)	17 (21)	17 (21)	16 (20)	18 (20)	17 (21)	19 (22)	18 (22)	19 (20)

※ 期末現在 平均年齢 85.7 歳(男 82.0 歳 女 86.9 歳) 最高齢者 95 歳

※ 期中 新規利用者 6人 契約終了者 9人(入院等 6人、死亡 3人)

### (2) 利用者の要介護区分内訳 (令和3年3月末現在) (人)

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
今年度末	4	5	3	3	2	2	19
前年度末	1	8	5	2	3	1	20

### (3) 地域別利用状況 (令和3年3月末現在) (人)

地域	今津町	マキノ町	新旭町	合計
人数	17	0	2	19

### (4) 月別利用状況推移(延人数) (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
通い (前年)	315 290	289 296	279 309	267 276	266 311	249 305	253 304	242 297	245 323	246 311	216 286	207 275	3,074 3,583
宿泊 (前年)	26 44	27 37	28 43	28 39	28 40	25 41	25 37	17 39	14 40	14 41	11 31	10 29	253 461
訪問 (前年)	323 291	337 281	344 276	323 272	261 261	321 263	323 290	312 296	329 332	314 323	263 313	263 313	3,713 3,511

※ 1日平均利用者 通い 8.4 人 宿泊 1.3 人 訪問 10.1 人

## 2. 経営状況

今年度は、前年度と比べ利用者数の減少と介護度の軽度移行により、事業活動収入は49,072,152円で、前年度比較4,650,527円減少した。

また、事業活動支出は前年度から1%減の48,939,187円となり、当期資金収支差額は162,117円の赤字となった。

## 3. 防災対策

今年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、消防職員、地域住民が参加しての消火訓練や夜間避難訓練は行わず、職員のみで行い、防災意識の向上に努めた。

## 4. 地域交流活動

### ・運営推進会議の実施

2ヶ月に一度運営推進会議が義務付けられている。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、7月、3月の2回高島市地域包括支援センター職員、市ヶ崎区長、南新保民生児童委員、利用者・家族代表が参加し、対面にて運営推進会議を実施した。上記以外の同会議は書面にて行い、自己評価の意見聴取を得て、外部評価とした。

### ・美化活動

冬季を除き、毎月1回、地域の清掃活動を実施した。

### ・ボランティア・地域交流

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためボランティア交流は中止。地区の祭り・清掃活動なども中止となった。

## 5. 職員研修

今年度は、外部研修の参加は見合わせ、部署内での自主研修を行い資質向上に取り組んだ。

## 6. その他

今年度、利用者および家族からの苦情の申し出が1件であったが、適正に対応した。

# 令和2年度事業報告書

障害者支援施設：生活介護事業、施設入所支援事業  
短期入所事業  
日中一時支援事業（公益事業）

## 1. 生活介護事業、施設入所支援事業

### (1) 利用者の状況

生活介護事業については、施設入所者46人と在宅通所者9人の受入れをした。施設入所事業では、11月に加齢に伴い介護と医療ケアが必要になった1人、地域移行をした2人の計3人の退所があった。その補充は、支援困難ケースで短期入所をしていた1人、高齢の両親と在宅生活をしていた1人、身体機能の低下による1人を受入れ、定員46人になった。

利用者の内、60歳以上の者が全体の39%占め高齢化が進む一方、強度行動障がい等を持つ若年齢者もあり、障がいの二極化が見られ、器物破損や他害行為等による事故も発生している。

今年度は、疾病の悪化による入院が4人で、入院延べ日数は94日。その原因は、抗がん剤治療、肺炎、左脛骨骨折、咽頭炎で、現在は4人とも回復し状態も安定している。

#### ① 利用契約者状況

(令和3年3月31日現在)

定員	前年度末人員	契約解除者	新規契約者	今年度末人員	摘要
46人	46人	2人	2人	46人	男性27人 女性19人

- 平均年齢 50歳 (男 49歳 女 52歳)
- 最高年齢 73歳
- 最少年齢 23歳
- 平均在籍年数 23年 (男 23年 女 23年)

#### ② 出身市町別状況

(令和3年3月31日現在)

市町名	高島	大津	東 近江	近江 八幡	草津	甲賀	長浜	彦根	野洲	愛荘	県外	計
人数	26	5	4	2	2	1	1	2	1	1	1	46

#### ③ 障害支援区分

(令和3年3月31日現在)

障害支援区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
人数	0	0	0	3	12	31	46	5.61

注：前年度の平均は5.52

④ 利用実績表

〈施設入所支援〉

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

令和2年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
延べ利用者数	1,363	1,407	1,367	1,389	1,390	1,363	1,426	1,380	1,418
平均利用者数	45.5	45.4	45.6	44.9	44.9	45.5	46.0	46.0	45.8
令和3年	1月	2月	3月	合計		前年度実績			
延べ利用者数	1,417	1,288	1,409	16,617人		16,365人			
平均利用者数	45.8	46.0	45.5	45.6人/日		44.9人/日			

〈生活介護〉

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

令和2年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23
延べ利用者数	1,169	1,145	1,174	1,198	1,173	1,139	1,243	1,170	1,215
平均利用者数	53.2	49.8	53.4	52.1	51.0	51.8	54.1	53.2	52.9
令和3年	1月	2月	3月	合計		前年度実績			
開所日数	23	20	23	269日		270日			
延べ利用者数	1,219	1,046	1,221	14,112人		13,763人			
平均利用者数	53.0	52.3	53.1	52.5人/日		50.9人/日			

(2) 経営状況

障害福祉サービス等事業収入は、強度行動障害者支援加算等を取得したこと、障害支援区分が上がったこと、帰省を自粛したことにより、前年度比12,685,242円(生活介護事業9,830,560円、施設入所事業2,854,682円)の増収となった。

支出では、事業費支出で、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、予定していた外出行事は全て中止した関係で、教養娯楽費で前年度比2,613,946円の減額、外部研修の参加を取りやめたことで研修研究費は、前年度比503,001円の減額となった。また、新型コロナウイルス感染症予防対策補助金4,850,829円の交付決定を受け、新型コロナウイルス感染利用者待機施設新築工事、廊下の間仕切りの設置、プロジェクターと空気清浄機等を購入し、補助金の差額分14,477,939円は、施設会計より支出した。その他は予算通り執行し、過年度からの繰越金200,000,000円(施設入所支援で70,000,000円、生活介護で130,000,000円)を施設整備等積立金とし、当期資金収支差額は、施設入所支援で52,338,182円、生活介護で97,222,832円マイナスとなった。

(3) 職員体制

7月に生活支援員(非常勤)1人、9月に看護師(正規)1人が退職したが、10月に看護師(非常勤)1人、11月に看護師(正規)1人と生活支援員(正規)1人、12月に生活支援員配置時間数は多くなっているが、引き続き職員採用に向けて取組んでいく。

#### (4) 事業管理・運営状況

年度当初に予定していた行事については、国が示す「新しい生活様式」に従って外出行事を中止し、施設内行事の計画を見直した。具体的には、毎月のレクリエーションでゲームや軽スポーツを楽しんだり、夏祭りで縁日の気分を味わったり、活動発表会は無観客の中、2グループに分かれ創意工夫をしながら劇や歌・ダンスを発表した。また、毎月「お楽しみおやつ」の日を設け、栄養士が希望のスイーツやお菓子を聴き取り、手作りのおやつをバイキング形式で提供する等、利用者の楽しみの一つとなった。

帰省や面会等は、新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、自粛や時間制限で対応した。

新たな取組みとして、「想定ヒヤリ」と題し、職場に潜む事故や危険に繋がりそうな芽を探し出すことを始めた。これは、ヒヤリまではいかないが、それぞれの職員が感じた危険を気軽に出し合うことで情報共有を図り、事前に回避することを目的としている。職員は、情報を多く出すほど危険を予知する「気づく力」が養えるため、サービスの質の向上と安全で安心な生活の場の提供に繋がっていくと考える。その他、年3回の事故防止委員会と年4回の虐待防止委員会を行い、委員会で話し合った内容は職員会議で問題提起し、情報の共有を行った。また、滋賀県発達障害者支援センターからのコンサルテーションを継続し、職員を小グループに分け具体的な利用者支援に取り組むことで、一人ひとりの支援スキルの向上に努めた。

##### ① 利用者支援

新型コロナウイルス感染症の予防対策に迫られる日々が続いているが、利用者にとってはコロナの影響により生活に制限が加わり、多くのストレスを抱えながら日々生活をしている。そのような中、日々の支援を通じて寄り添いながら、利用者の変化を敏感に感じ取れる受信能力を高め良いところ探しをし、多くの笑顔を引き出せるように支援した。

日中活動については、高齢の利用者は、午後からの日課を入浴時間とし、他の利用者と時間差をつけることで手厚い職員体制の中安全に入浴をし、清潔保持に努めた。また、若年齢の利用者に対しては、体を動かすストレスが発散でき、働く喜びを感じられるように生産活動に取り組んだ。

健康管理においては、年2回の健康診断を滋賀保健研究センターの移動検診車で受診した。施設内で行うことで時間的な余裕に繋がり、医療に対して理解が難しい利用者も無理なく受診することができ、疾病の早期発見の一助となった。また、月1回の嘱託医の往診による診察で、利用者の健康状態を管理し、疾病の早期発見と予防に努めた。

##### ② 防災・防犯等対策

火災を想定した避難訓練は、計画通り年3回（夜間も含む）藤波園と合同で行い、2月には高島市消防本部にて救命講習を受講し、不測の事態に対応するスキルの習得に努めた。地元のマキノ駅西自治会との災害訓練は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止した。

### ③ 職員研修

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度予定されていた外部研修は中止となり、代替研修としてオンライン研修やYouTube研修、DVD研修を取入れた。また、職員会議で「たかしま会の理念」「倫理綱領」「行動指針」の唱和を行い、人権意識の向上を図るとともに規範意識の向上に努めた。

月	研修内容
4月	ハラスメント研修
8月	虐待防止研修
10月	新型コロナウイルス感染症拡大防止研修
12月	新型コロナウイルス感染症研修
1月	強度行動障害支援
2月	自閉症のある人への支援
	救命講習
	便秘と食事医療法について
3月	感染症におけるガウン等の装着について

※ 人権に関する研修 1回/月 実施。

※ 支援困難ケース事例検討 3回/年 実施。

### ④ 施設整備等

新型コロナウイルス感染症予防に向けて4月にマニュアルを作成し、その後、9月に全てのマニュアルを見直し全職員に周知徹底を図り、朝礼や職員会議の際には、感染予防をするように繰り返し注意喚起をした。また、万が一に備え、新型コロナウイルス感染症が発生した際を想定し、施設内をゾーニングができるように廊下に間仕切り戸を2か所設置し、駐車場奥にある広場に新型コロナウイルス感染利用者待機施設の新築工事に取り組み3月末に完成した。その他、感染症対策として、マスク・アルコール消毒液・フェイスシールド・使い捨て手袋・防護服・非常食・空気清浄機等を購入した。

(仮称) 高齢・重心対応型デイサービスセンター新築工事の実施設計は、株式会社水原建築設計事務所より、8月末に業務成果品の引渡しを受け完了した。また、補助金申請については、県に対して民間心身障害児者施設整備事業(国庫補助事業)に係る協議書を提出し、採択の結果待ちである。

### ⑤ 苦情対応

苦情はなかった。

⑥ その他

新型コロナウイルス感染症の発生時における協力体制の整備については、感染症の発生により当該施設の職員が不足し、利用者支援を継続できない場合、応援職員を派遣する協定を締結した。

- ・高島市内について、高島市障がい者自立支援協議会を事務局とし、(福) ゆたか会、(福) 虹の会、(福) すぎやまの家、(福) たかしま会の4法人で協定書の締結。
- ・知的ハンディを持つ人の福祉協会については、滋賀県障害福祉課を事務局として、構成団体 20 施設で協定書を締結。

2. 短期入所事業

今年度に入り県内や市内で新型コロナウイルス感染者が確認されたことから、家族の支援が得られ居宅で過ごすことが可能な人については、感染リスクを軽減する思いで、利用の自粛を依頼した。しかし、ケースによっては、サービス利用を希望したため感染症対策をしっかりと講じた上で受入れをした。そうした中、家庭で支援困難ケース3人の長期利用と定期利用者を8人、不定期利用者を10人受入れた。

今年度はコロナ禍の中、延べ利用者数は1,577人と昨年比べ123人減少した。これにより、障害福祉サービス等事業収入は、13,269,020円で前年度比641,956円の減収となった。

固定資産取得支出では、新型コロナウイルス感染症予防対策補助金3,000,000円の交付決定を受け、新型コロナウイルス感染利用者待機施設の建築費用に充当した。

過年度からの繰越金30,000,000円を施設整備等積立金とし、当期資金収支差額は、25,064,115円のマイナスとなった。

この事業は、強度行動障がい者や常時見守り介護を要する人等を受入れることから高い支援度を要する。しかし、地域で生活する重度知的障がい者や強度行動障がい者およびその家族にとって必要なサービスであり、今後も入所施設の役割等を職員間で共通認識しながら継続して受入れていく。

① 利用者の状況 (令和3年3月31日現在)

今年度末契約者数		前年度末実利用者数		今年度末実利用者数	
66人	男性35人 女性31人	29人	男性15人 女性14人	29人	男性15人 女性14人

② 利用実績表 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

令和2年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
延べ利用者数	151	140	129	139	115	115	153	132	134
平均利用者数	5.1	4.6	4.3	4.5	3.8	3.9	5.0	4.4	4.4
令和3年	1月	2月	3月	合計		前年度実績			
延べ利用者数	126	101	142	1,577人		1,700人			
平均利用者数	4.1	3.7	4.6	4.4人/日		4.7人/日			

### 3. 日中一時支援事業（公益事業）

今年度は、契約者 67 人の内、実利用者数は 14 人で、年間の延べ利用者数は、1,292 人で、一日平均 3.5 人であった。これは、前年度と比較すると新型コロナウイルス感染症に伴い利用の自粛が影響し、受託事業収入は、3,815,330 円で前年度比 710,805 円減収した。また、過年度からの繰越金 10,000,000 円を施設整備等積立金とし、当期資金収支差額は、9,262,684 円のマイナスとなった。

#### ① 利用者の状況

(令和 3 年 3 月 31 日現在)

前年度末契約者数	契約解除者	新規契約者	今年度末契約者数	摘要
66 人	1 人	2 人	67 人	男性 35 人 女性 32 人

#### ② 利用実績表

(令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)

令和 2 年	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
延べ利用者数	110	108	127	125	107	121	104	92	97
平均利用者数	3.7	3.5	4.3	4.1	3.5	4.1	3.4	3.1	3.2
令和 3 年	1 月	2 月	3 月	合計		前年度実績			
延べ利用者数	92	99	110	1,292 人		1,489 人			
平均利用者数	3.0	3.6	3.6	3.5 人/日		4.1 人/日			

# 令和2年度事業報告書

共同生活援助 たっちの家、羽ばたき  
あっとホーム、箱館ハウス  
高木浜ホーム

## 1. 利用者の状況

藤美寮からグループホームに移行した人を中心に高齢化が進み、日常生活上身体介護を要する人が増えた。特に土日の日中支援には、世話人を複数配置するなど対応し、安全に生活できるように配慮した。

利用者の健康状況は、脳挫傷の後遺症から介護が必要となった1人と高齢に伴い医療行為が必要となった1人の計2人が8月末に退所した。その補充は、藤美寮の入居者2人が地域移行し、グループホームで生活を開始し定員は充足した。

### ① 利用契約者状況

(令和3年3月31日現在)

定員	前年度末契約者数	契約解除者数	新規契約数	今年度末契約者数	摘要
23人	23	2	2	23	男性11人 女性12人

### ② 年齢分布表

(令和3年3月31日現在)

年齢	29以下	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	合計
男性	1	3	2	2	2	1	23
女性	1	2	1	1	4	3	

■平均年齢 53歳 (男 49歳 女 57歳)

■最高齢 84歳 最年少 24歳

### ③ 障害支援区分

(令和3年3月31日現在)

障害支援区分	1	2	3	4	5	6	合計	平均
人数	0	0	0	4	14	5	23	5.04

注：前年度の平均は5.0

### ④ 出身市町別状況

(令和3年3月31日現在)

市町	高島	湖南	近江八幡	愛荘	彦根	長浜	県外	合計
人数	16	1	1	1	1	1	2	23

## 2. 経営状況

今年度は、2ホームで入院による空室が延べ65日あった。また、利用者の平均障害支援区分は、前年度5.00が、今年度は5.04と全体的に上がった。更に、2人の退所があったが、直ぐに入居の補充ができ、訓練等給付費収入は順調に推移し、5ホームとも安定した経営ができた。

人件費支出については、入居者の障害支援区分の変動により、世話人の配置時間数が変わり、5ホーム全体で322,428円の増額となった。

給食費支出については、4月より食材宅配サービス「ヨシケイ」を導入したことで5ホーム全体で、1,229,272円の増額となった。また、消耗器具備品費の支出では、新型コロナウイルス感染症予防対策補助金の交付決定を受け、通常の日用品に加え消毒液やマスク等を追加購入し、5ホーム全体で1,660,521円の増額となった。

また、新型コロナウイルス感染症予防対策補助金の交付決定を5ホームで15,000,000円受け、新型コロナウイルス感染利用者待機施設の建築費用に充当した。その他、大きな支出経費もなく、各事業所とも黒字であった。

### 3. 職員体制

5ホームで21人の世話人が支援に入っているが、障害支援区分の重度化に伴い、世話人の配置基準が多くなっている。今後とも職員の配置基準を勘案し、支援に支障がない雇用体制を整えていく。

### 4. 事業管理・運営状況

#### (1) 生活支援

新型コロナウイルス感染症の対応が長期化する中、感染対策を図りながら新しい生活様式（カタログショッピングや世話人等による買い物の代行、テイクアウトで食事を楽しむ、公園や浜辺を散歩する）を見つけ生活をしている。しかし、利用者は、コロナ禍による環境の変化に多くの不安やストレスを抱えているのも事実である。常に利用者の意思や人権を尊重し休日の過ごし方に工夫し、日中の通所先と連携を密にして支援をした。

一方、コロナ禍はマイナス面だけではなく、帰宅後や食事前の手洗いと手指消毒、朝夕の検温、マスクの着用等を意識づけたことで、インフルエンザ等他の感染症が蔓延することなく、健康な生活が送れた。

食事面については、4月より食材宅配サービス「ヨシケイ」を導入し、買い物・調理の短縮、栄養バランスの整った献立により、体重の減量をはじめ健康的な生活が継続できるように支援をした。

#### (2) 健康管理

年1回健康診断を受診し、疾病の早期発見と予防に努め、医療が必要な場合には、バックアップ施設と連携しながら適切な対応がとれる体制を継続し、特に食事と運動(散歩)の両面から健康管理を行った。

#### (3) リスク管理

年2回、昼間と夜間の火災を想定した避難誘導訓練を実施し、併せて防災体制を整備し、バックアップ施設である藤美寮と連携がとれるようにサービス管理責任者を中心とした体制を整えた。また、非常食を喫食しながら災害に対する意識を高めた。

#### (4) 人事管理

コロナ禍の中、世話人を外部研修に派遣できなかった。利用者の重度高齢化に伴い障がい特性に特化した支援が必要となり、世話人会議の場を設け支援の統一を図り、バックアップ施設との連携を密に質の高い支援に努めた。

#### (5) 苦情対応

苦情はなかった。

# 令和2年度事業報告書

高島市安曇川障害者デイサービスセンターアンフィニ  
(地域活動支援センター事業)

## 1. 利用者の状況

今年度は、新規契約者が5人あり、施設入所の理由により解約者が2人あり、年度末契約者数は55人であった。

令和2年度はコロナ禍の中、利用者の中には、加齢に伴い糖尿病・心不全・呼吸器疾患等の基礎疾患を有する人や精神障がい者は、4月以降は感染リスクへの不安から通所の自粛があり、10月以降少しずつ利用が増えたものの一日平均利用者数は12.5人で、前年度より減少した。

### ① 利用契約者状況

(令和3年3月31日現在)

定員	前年度末登録者数	契約解除者数	新規登録者数	今年度末登録者数	摘要
15人/日	52人	2人	5人	55人	男性16人 女性39人

\* 平均年齢 62.1歳 (男 67.7歳 女 59.7歳)

\* 最高齢 92歳 最年少 26歳

### ② 障害種別

(令和3年3月31日現在)

障害名	知的障がい	聴覚障がい	視覚障がい	精神障がい
人数	5(4)人	1(2)人	14(14)人	23(20)人
障害名	重度心身障がい	肢体不自由	計	
人数	2(3)人	10(10)人	55(53)人	

\* ( ) 内の数字は前年度

### ③ 利用実績表

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

令和2年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
開所日数	21	18	22	21	18	20	22	19	20
延べ利用者数	205	186	234	244	195	244	289	271	290
平均利用者数	9.8	10.3	10.6	11.6	10.8	12.2	13.1	14.3	14.5
令和3年	1月	2月	3月	合計	前年度実績				
開所日数	19	18	23	241日	241日				
延べ利用者数	265	263	337	3,023人	3,215人				
平均利用者数	13.9	14.6	14.7	12.5人/日	13.3人/日				

## 2. 経営状況

利用契約者 55 人の内、実利用者数は、毎月 30 人前後で、利用時間数も 4 時間未満の利用が多く、加えて新型コロナウイルス感染症に伴う通所の自粛、高齢に伴い介護保険サービスへの移行や疾病等による利用回数の減少等が見られ、受託事業収入は、24,461,139 円で、前年度比 370,836 円の減収となった。

支出では、職員の雇用形態の変更に伴い支出科目が変わった事、その他、通所人数に応じた職員配置をしたことで、人件費支出で前年度比 786,685 円の減額となった。また、事業費・事務費支出についても経費を削減したことにより、当期資金収支差額は、3,077,199 円の黒字となった。

## 3. 職員体制

今年度は、正規職員 2 人、臨時職員 5 人（看護師を含む）の 7 人体制で事業を行った。特に臨時職員については、週 1 日から 3 日の勤務日数のため、職員間の連携を強化しながら支援に努めた。

## 4. 事業管理・運営状況

利用者には、「新型コロナウイルス感染症にかかる対応について」蔓延防止に向けた文章を 4 月に配布し、その都度感染の状況を伝えながら感染予防と対策に向けて注意を促した。また、事業所が取組んでいる感染症予防対策について示し、利用者にも協力を得ながら事業を進めてきた。

8 月に次期指定管理者の応募があり申請書類を高島市に提出、10 月にプレゼンテーションを行い、12 月には第 4 期指定管理（令和 3 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの 5 年間）の受託決定を受けた。

10 月に指定管理者定例会議があり、令和 2 年度前期分の事業執行状況について調査を受け、その結果は、B 評価であった。

### (1) 日中活動

活動については、4 月以降ボランティアや講師を招いての余暇活動、買い物や外出活動等は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止措置をとったが、第 1 回緊急事態宣言解除後の 6 月より国が示す「新しい生活様式」に基づいて徐々に再開をした。

8 月には、地域交流の場として「夏祭り」を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止し、活動の一つとして通所した利用者と職員だけで夏祭りの雰囲気を楽しんだ。その他、焼き芋・クリスマス会・餅つき・初詣等、感染対策を講じ事業所内で工夫をしながら実施した。また、月 1 回の料理教室は活動として定着し、利用者間で相談しながら献立を決め、各々の調理技術を発揮し楽しく活動をした。今後も生活スキルの向上を目的に取り組んでいく。

### (2) 地域に向けた取組み

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、毎年行っている生け花展や作品展を中止した。また、KOSEI 輝く芸術祭も中止となり、日々の活動の様子を地域に発信できなかった。

(3) 施設整備について

高島市から新型コロナウイルス感染症予防対策補助金の交付決定を受け、飛沫感染防止の衝立や衛生用品(消毒液、マスク、フェイスシールド、ガウン等)の購入を行い、感染対策に備えた。

(4) 利用者の苦情や要望

事業所内に意見箱を設置し、また、月1回茶話会で職員と利用者との懇談の場を設け、年度末にはアンケートを実施して意見などを聴取した。この結果は、日々の活動に反映した。

苦情については1件あり、利用者本人からの申し出で、特定の視覚障がいのある利用者に対して、男性職員が過度な接し方をしているので、言動を改めて欲しいとの内容だった。苦情申出本人と面談をする中で、男性職員に好意を持っていることが分かり、状況説明をすることで一定の理解を得た。この案件は、苦情申出本人からも第三者委員に報告しており委員会で対応を検討した。

5. 自主事業

新型コロナウイルスの感染症が拡大している状況から全て中止した。

# 令和2年度事業報告書

藤美相談支援事業所

## 1. 利用者の契約状況

今年度は、新規契約者が3人あったが、契約解除者は介護保険に移行した3人と一般就労した1人、他の事業所に移行した2人で、年度末の契約者数は100人と前年度から3人減少した。

### ① 利用契約者状況

(令和3年3月31日現在)

前年度末契約者数	契約解除者数	新規契約者数	今年度末契約者数	摘要
103人	6人	3人	100人	男性51人 女性49人

### ② 利用実績表

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

令和2年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
計画数	8	3	0	4	5	5	3	2	4
モニタリング数	19	28	18	19	27	22	26	30	21
計	27	31	18	23	32	27	29	32	25
令和3年	1月	2月	3月	合計	前年度実績				
計画数	3	6	5	48件	71件				
モニタリング数	21	23	23	277件	196件				
計	24	29	28	325件	267件				

## 2. 経営状況

障害福祉サービス等事業収入は、利用者の状態に応じてプランを見直した結果、モニタリング件数が増えたことや「サービス担当者会議」「医療・保育・教育関係等の連絡」「事業所訪問」等を実施して加算を算定したことで、計画相談支援給付費収入は、5,897,814円で、前年度比2,084,786円の増収となった。

支出では、新規採用職員を配置したことで、人件費支出で前年度比の32%削減した。その結果、年度当初藤美寮からの繰入金3,102,000円を年度末に返済し、当期資金収支差額は191,616円の黒字となった。

## 3. 事業実施状況

今年度も相談支援専門員1.0人と兼務相談支援専門員0.1人、事務員0.35人、管理者1.0人の体制で取組んだ。

現在は、藤美寮45人、グループホーム22人、藤の樹工房12人、アンフィニ6人、在宅15人の計100人に対して支援を行っている。特に、在宅のケースについては、家庭基盤が脆弱化し家族を含めた支援が必要なケースや多職種連携（医師や心理士）の必要な

ケースが多く、質の高いケアマネジメントができる相談支援専門員が求められている。その為、高島市相談事業所連絡会等の勉強会に参画しスキルを高め、必要に応じた相談支援の量と業務負担を加算で算定することで、経営の安定に取り組んだ。

# 令和2年度事業報告書

就労継続支援B型事業所 藤の樹工房

## 1. 利用者の状況

当施設の利用者は、一般就労を目指す精神障がい者や、日中活動の場として利用する知的障がい者など利用目的や障害特性は様々である。

契約状況は、新規契約者が4人、契約解除者が2人で、3月末現在、契約者数は29人である。

### ① 利用者の契約状況 (令和3年3月31日現在)

定員	年度当初契約者数	契約解除者数	新規契約者数	年度末契約者数	摘要
27人	27人 (31人)	2人 (4人)	4人 (0人)	29人 (27人)	男性17(16) 女性12(11)

\* ( )内の数字は前年度

### ② 利用実績表

項目	今年度実績	前年度実績
開所日数	242日	240日
延べ利用者数	5,649人	5,688人
平均利用者数	23.3人/日	23.7人/日

### ③ 利用者の障害支援区分 (令和3年3月31日現在)

障害支援区分	なし	1	2	3	4	5	6	計
人数	10人 (10人)	2人 (1人)	2人 (1人)	1人 (2人)	5人 (4人)	9人 (8人)	0人 (1人)	29人 (27人)

\*障害種別 精神障がい者 7人(7人) 知的障がい者 22人(20人)

\* ( )内の数字は前年度

## 2. 経営状況

就労支援事業収入は、2,953,478円で、前年度比576,409円の減額となった。主な要因は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、生産活動では市内業者からの発注が滞ったこと、また、受注作業では職員の人事異動によりコーティング作業を中止したことによるものである。そのため、平均工賃月額は、8,037円と、前年度比2,187円の減額となった。

障害福祉サービス事業は、訓練等給付費収入が42,760,286円で前年度比645,183円の増額となった。これは、延べ利用者数は減少したものの、介護・福祉職員特定処遇改善

加算を新規に算定したことに加え、食事提供や送迎を希望する利用者の増加で、一人当たりの加算額が増加したことによる。

支出は、人事異動と特定処遇改善手当の新設により人件費支出が 1,969,960 円増加したことから、事業活動支出計は前年度比 1,317,804 円の増額となった。

当期資金収支差額に大きな変動はなく、前年度比 16,407 円減額の 6,247,417 円となった。

### 3. 職員体制

正規職員3人、臨時職員5人の8人体制で事業を行った。

一昨年度から2人減員となっているが、利用者数が減少傾向にあることから、職員募集は行なっていない。

### 4. 就労支援事業

#### (1) 生産活動

##### ① 受注加工

受注業者は7社で前年度と増減はないが、売上は前年比 176,379 円の減額となった。その要因は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により市内業者からの発注が滞ったことによる。

##### ② 自主製品

「よもぎ湯の素」は、売り場の商品ポスターを工夫し販売促進に努めたところ、売上額は前年度比 58,243 円の増額となった。

「野菜の栽培」は、玉ねぎやカボチャ、大根等を収穫し、農協や学校給食センター等に販売した。前年度に比べ販売単価は上昇したものの、収穫量が減少したことから、売上額は前年度比 60,219 円の減額となった。

なお、昨年度に引き続き、作付地が利用者と地域住民との交流の場となるよう、地元の高齢者に作付け指導をお願いした他、マキノ民生委員児童委員協議会障がい者福祉部会の協力のもと、利用者全員で玉ねぎの定植作業を行なった。

「椎茸の栽培」は、売上額は前年度比 3,920 円の増額であったが、器づくりの売上額は前年度比 12,300 円の減額となった。

以上により、自主製品の売上額合計は、1,135,718 円で、前年度比 10,356 円の減額となった。

##### ③ 受注作業

担当職員の人事異動により、車輛のコーティングやタイヤ交換作業を中止し、農園の請負作業を中心に事業を展開したが、受注作業の売上額は 390,788 円で、前年度比 306,774 円の減額となった。

##### ④ 内部売上

内部売上は、藤美寮に販売した野菜の売上額 2,100 円のみで、前年度比 82,900 円の減額となった。

以上により、就労支援事業売上収入合計は、2,953,478 円で、前年度比 576,409 円の減額となった。

工賃は、支払総額が 2,555,635 円となり、前年度比 654,649 円の減額で、一人当りの平均月額工賃は 8,037 円と、前年度比 2,187 円の減額となった。

⑤ 生産活動（加工、生産、売上）

〔受注加工〕

企業名	職種・内容	今年度実績	前年度実績
八田加工	溶鉱炉部品組立て他	249,280 円	287,380 円
トーア	家具部品梱包他	117,194 円	80,457 円
ダイヤモンドツール	釣り針袋詰め等	593,193 円	525,985 円
奥野電器	電気部品組立て他	129,000 円	86,200 円
クローバー電機	印刷機部品組立て	9,261 円	15,672 円
大吉	箱折り	136,772 円	134,339 円
フジ製作所	梱包材製造	190,172 円	471,218 円
計		1,424,872 円	1,601,251 円

〔自主製品〕

作業名	販売場所・品目	今年度実績	前年度実績
よもぎ湯の素 製造	マキノピックランド 道の駅マキノ追坂峠 マキノ高原温泉さらさ 道の駅くつき新本陣 グリーンパーク思い出の森 長浜まちの駅 道の駅藤樹の里あどがわ イベント出店	735,928 円	677,685 円
野菜の生産	玉ねぎ、カボチャ、大根等	351,520 円	411,739 円
椎茸の栽培	椎茸(生)	41,870 円	37,950 円
器作業	道の駅マキノ追坂峠	6,400 円	18,700 円
計		1,135,718 円	1,146,074 円

〔受注作業〕

委託事業所	受託作業等	今年度実績	前年度実績
農園請負	畑作業、梨枝拾い等	390,788 円	347,962 円
コーティング作業	車のメンテナンス	0 円	268,600 円
タイヤ交換作業	タイヤ交換、ウィンドウ コート、下部洗浄等	0 円	81,000 円
計		390,788 円	697,562 円

〔内部売上〕

事業所	農産物	今年度実績	前年度実績
法人本部	50周年記念品(よもぎ湯)	0円	42,000円
藤波園	コーティング、タイヤ交換、野菜	0円	42,000円
藤美寮	野菜	2,100円	1,000円
計		2,100円	85,000円

【生産活動合計】

受注加工＋自主製品＋受注作業＋内部売上の合計	2,953,478円	3,529,887円
------------------------	------------	------------

⑥ 《利用者工賃支払総額》

今年度実績	前年度実績
2,555,635円	3,210,284円

(令和元年度:工賃変動積立金 200,000円取崩し含む)

⑦ 《工賃平均月額》

今年度実績	前年度実績
8,037円	10,224円

(2)利用者支援

利用者からの聴取により作成した個別支援計画に基づき、訓練等の支援を実施した。また、個別の相談や悩みを聞くことで生活面の支援を行った。

また、高齢化が進み介護的な支援も必要な一部利用者については、グループホームの世話人やバックアップ施設である藤美寮との連携を密にして、利用者が安心して日常生活が送れるように取組んだ。